

2025年9月27日

## 第2回幹事会議事録

県陵東京同窓会幹事会 総務 福井

日 時:2025年9月27日 15:00~17:35

場 所:泰南飯店(日本教育会館内)

参加者:平賀 14 荒木 23 小松 23 小林 23 衣袋 27 戸田 28 森本 28 伊藤 34

二木 45 岡田 47 勝野 47 森 47 北村 52 飯田 31

久保田 百瀬 27 福井 31 松澤 36 小島 36 計 19名

柳谷(26年3月真打昇進内定)

(敬称略)

特別参加 松本から望月会長 大澤同窓会館建設委員長

### ◆はじめに

福井(総務委員長)

- ・会議進行変更点～前回から会場、開始時刻、会費、すべて変更した。
- ・2時間討議に集中し、積み残しの議論や懇親は懇親会で行う。
- ・今回は会議も懇親会も同一会場とした。

### ◆第58回総会懇親会実施報告

岡田実行委員長

- ・応援団 グループラインで募集したところ 3名立候補+昨年の現役が集まり成功。  
会報は従来通り 12 ページ。昨年は 16 ページ。
- ・広告 30 社 615,000 円収集。同期中心。
- ・出欠はがきの宛先 私書箱廃止、同期のオフィス宛とし経費削減。
- ・アルカディア市ヶ谷の利用を午後からと変更。個人ごとではなく卓上への配膳とした。
- ・会費 11,000 円から 12,000 円に値上げ。
- ・寄付金 予算計上せず収支管理した。
- ・申し込み ウェブ経由 185 人 うち参加 151 人 前年並み。  
ハガキ経由 171 人 うち参加 32 人 欠席 138 人。

物故者遺族から「連絡済なのにまだ届く」との指摘あり、情報管理・更新要。

- ・集客 200 人目標 実績 183 人 来賓 9 人 当日参加 1 人・当日欠席 6 人。

60歳以上 83 人(昨年 82)

40~59歳 89 名(同 97) うち同期 29 名(昨年の実行委員同期はこれ以上)

40歳未満 9 名(同 12)

準若手会費 3,500 円から 3,000 円に下げたが不発。

来賓恩師 松本愛のリレーでは 2 名、東京も 2 名

その他来賓 7 名に招待状、全員参加。

- ・入金 脇川財政委員長が都度連絡をくれたので助かった。

・学校からの配布物 二木総会支援副委員長が尽力。県陵新聞・最新動向資料など。

- ・キャンセル料発生 一週間前に設定。

・座席は固定化、ギリギリまで動きあり。確定は 2 日前。今年も数人で集中調整作業。

- ・備品 濱田さん保管で利便性大。

・当日準備 アルカディア市ヶ谷好意で 11 時から開始、スムースにできた。

- ・受付 当日参加・当日欠席が出たが対応。
- ・法被着用 実行委員のシンボルであり良し。
- ・物販 木下のハンコ屋さん
- ・懇親会司会 同期小島プロ(松本山雅所属)。
- ・総会懇親会 同一会場・連続開催 良し。
- ・新規格 ライブキャンパス写真システム 宣伝不足で生かせず。
- ・全体写真撮影 良し。
- ・アンケート QR コード 良し
- ・当日キャンセル 3 名 今日現在 2 名未回収。
- ・引継会 次の実行委員会未発足により引継未完了。二木マニュアルを活用していく。
- ・会計 キャンセル処理未完了。  
最終 150,061 円余剰出せた。
- ・実行委員長をやってみて、いい経験だった。不知の同期と出会い・音信不通同期を発見。

百瀬幹事長 決算報告の確認。総収入・総支出について。

岡田実行委員 寄付や経費未計上あり未確定。引継費用も未確定。

森本総会支援委員長

- ・物故者 連絡受けたらすぐ周知すべき。
- ・物品保管・運搬負担は課題。
- ・来賓控室廃止したが、早く来る人もおりやはり必要か。
- ・フリードリンク予算 1,810 円実績 1,973 円 31,000 円オーバー。  
30,000 円持込費払う手あり。
- ・82 銀行東京支店(日本橋)行員 60 人中、長野高校出身者に次ぎ県陵出身者多い。  
→来年着目したい。
- ・部活つながり 有力パイプ
- ・アンケート 95 人回答。  
値上げについて 6 割はまあ止む無し。4 割はもっと料理を抑えて安くしてもいい。
- 参加費 安くせよ 23.8%。やむなしという雰囲気あり。
- 会場 変更許容 56%。

#### ◆第 59 回総会懇親会準備報告

二木総会支援副委員長

- ・今回の振り返りとともに、来年の話も一緒にしたい。
- ・物故者情報 松本に連絡しているのに東京から連絡が来るのは何故かという向きが一定層いるのではないか。
- ・アンケート 来た人が書いている。不参加者の意見反映なし。考慮しないといけない。
- ・来年の実行委員会 今日現在未組成。

今日は欠席の丸山さん。6 月総会にたまたま滝沢・太田両名が来た。

小林あや氏紹介の一名いる。かなり忙しそうとの印象。

9/24 話し合い機会あり。省力化ができる範囲でやるしかないのでとの意見。

総会懇親会幹事と会報制作の両方は難しい。一つは辞退できないかとの意見。

幹事会が何らかで協力する案。

実行委員長選任には至らず。だが何かしらやりたいとして、引継会の設定はあり。

今までにないかたちでやらざるを得ない状況かも知れない。

実行委員会業務の縮小、幹事会の対応、或いは業務自体の縮小も検討課題。

・アルカディア市ヶ谷の利用料高騰で他の会場候補

百瀬さんの伝でサンシャインシティのクルーズクルーズの紹介

費用 アルカディア市ヶ谷 9,320 円に対し、着席フルコース 10,000 円強、着席ビュッフェ 8,620 円。ピアノ代除く。まったくの未交渉価格なのでこれから交渉余地あり。

ロケーション 眺め抜群。スカイツリーも望める。

池袋からやや歩く。東池袋からが近い。

ここは大規模パーティノウハウ・実績多々。

そろそろ決めてくれとの連絡あり。競合現る。

百瀬幹事長補足

中心同総連は新宿のクルーズクルーズ使用。深志出の三溝専務・53回石原女史社員。

400 人に入るスペース。料理を取りに行く余裕あり。眺望抜群。

柳谷真打に一席依頼するのも手。

弱点 横に長い。太鼓使用不可。

福井総務委員長補足

集客アプリも経費内。負担軽減。試食料理品質良し。

百瀬幹事長補足

ウェブ招待状作成可能。会報発送費減少する代わりになる。

森本総会支援委員長補足

一つだけ難点。徒歩 8 分が年配者にはいかがか。歩くのにストレス・若者のカオスな街。

会場長く一体感は「やや」なし。

伊藤涉外委員長意見

料理 補充がないのが心配。ビュッフェだと補充なく後から行ったら何もなしとなる。

二木 仮予約要す。内金 55,000 円必要。

小松副会長 今年の 12,000 円が高いという反応なし。サンシャインの方が高いようだが。

アルカディア市ヶ谷 使えるのはなかなか高ハードル。今までの信頼関係を切るのは再開時リスクないか。かつての放浪の旅にならないか。

百瀬 アルカディア市ヶ谷の改装はいつか。

二木 未定。アルカディア市ヶ谷は見積後の値上げが散見され、次回この価格でやれるか疑問。

百瀬 サンシャイン使用の賛否を取る。挙手数えて賛成 10 人くらい。態度保留・反対はそれ以下。この場では決まらないので代表幹事会で決することにする。

久保田会長 アルカディア市ヶ谷は仮予約済か。二木 予約済み。

荒木参与 アルカディア市ヶ谷で弁当でいい。

森本 去年その案にくらっと来た。三種メニューあり。

平賀参与 80 歳越えてサンシャインで一回やってみたい気持ちあり。高いところで経験してみたい。

◆アカデミー館建設の件(特別議題)

望月会長

・総会以来久々。資材高騰等で暗礁に乗り上げて今日に至っている。遅れて申し訳ない

・数十回の打合せをして拡大建設委員会としても協議を重ねた。

・東京にたいへん心配かけたので説明に上京した。

なぜ建設するか

・同窓会の定義 会員の親睦だけではなく母校のため、後輩のために支援する。教育環境の整備をするのが目的。今回の建設も在校生のため。

・僚友館 休む場所はトイレしかない。部活でも使いたい。

・在校生の声にこたえてあげたい

・業者確保にも苦労 予算的なめどがつき、先日ゴーサインを出した。

もし建設を決行した場合に同窓会運営ができなくなることを危惧した。

借錢し、返済可能かも考えた。

郵送料を削って充当するか。それはやらずに済む。監査委員の税理士が確認。

・今までたいへんご心配いただいた。

大澤建設委員長 24

・100周年記念事業実行委員会は解散済。引き続き建設委員長として務めている

・平成30/9に百周年実行委員会発足。

・築50年同窓会館は老朽化、使い勝手の悪さ顕著。建替を100周年メイン事業とした。

・東京からは三澤・小松両氏が委員として参加。

・寄付集まるのかが課題。改築は耐震基準未達となり解決にならぬ。

・探求科のスペースを整備してほしいという学校からの要望あり。80名収容可能なもの。

・過分な要求を学校からもらっていた。極力学校からの要望に沿って行こうと50畳スペース確保を目指す。

生徒にもアンケート取った。学習スペースは個別に間仕切りあり、1階24席2階28席。

1階1-2年生、2階3年生。受験シーズンはほぼ3年生が使用。

トイレがなくて同窓会間のものを使っている。

飲食禁止。自由に、飲食できるものが欲しい。

そもそも同窓会をどういう方向性でやっていくか、現役の学習支援をどうやって行くか。

三澤前幹事長からは何度も提言もらった。同窓会間は記念館で残せとも。

松本に来たら市立博物館見てほしい。エントランススペースは昼間はほぼ高校生が勉強に独占している。イオンモールのフリースペースも同様。我々もあれほど勉強すれば違う人生があったと話しているくらい今の高校生は勉強している。どこに行っても公共スペースは一杯。やはりそういうスペースを作つてあげたいという思いが強い。ぜひ見てみてほしい。

同窓会に若い人たちの参加が少ない問題

どこでも共通の課題。会館を日常使いする中で同窓会に対する意識が変わっていけばいい。それが副次的な目標としてあった。

100周年記念事業決定・進捗の経過として、「同窓」会館だが「現役支援に一番の主眼を置いている」ことを理解してほしい。

募金目標6000万円クリアしたところがコロナ禍で建築費高騰。再見積もりは1億と大幅増。6000で何とかできないか、一から検討し直した。

様々な意見いただいた。現同窓会間を壊して新築する。今までの案だと僚友館西側の台形の土地が建設地。不整形地で余計にかかるので回避。大きさは当初の要望に沿つて50坪と不变。

見積 價格交渉 茅野建築士22回がギリギリの金額で行けるという線が出た。最終9028万円。

100年記念誌がまだ。人物誌・写真集はできた。印刷費・発送代 記念誌 460万。記念事業の報告費 80万。雑費 50万。これから必要な金額が 9590万円。

古い建物の減価償却費 2550万円が積み上っている。

予備費がないのは厳しので 1割予備費計上。会計士と相談 流動資産 4000万円から 10百万を繰り入れた

寄付・預金・減価償却費繰入金で何とか手持ち資金で出来る。

子供達の居場所作る。16時30分で博物館は追い出される。一日も早く整備してやる。

そうすれば同窓会に対する子供たちの意識も変わってくる。先輩の意を汲んで次の世代につなげていける。厳しい環境だがやっていきたい。ぜひご理解を。

福井 過去の議事録にあった育英会資金の取り崩しはいかがなものか。

望月 あれは常盤事務局長の書き間違い。それは使わない。総会決議が必要になる。

流動資産の中の預金を使うということになった。

福井 予算は 1.5倍、かつグレードが下がるが。

大澤 最初はいろいろソーラー等予算に入っていたがカット。基本的なものは整えられる。

望月 そもそも 6000万円は 6年前。3000万プラスになってしまった。

資材高騰 一ヶ月ごとに上がっていく。

予期しなかったこととして解体費。600万円もかかる。アスベストが調査した結果出てきた。これが(予算に)乗ってしまった。

それで 9000 になったことをご理解いただきたい。

二木 目的は大賛成だが今回の設計でどの程度目的に合致しているか。トイレは良し。

生徒のコミュニケーションスペース 48.1畳 90平米。標準的な教室 70平米だがその広さで達成できるのか。どのような形で使ってもらうのか。飲食・その他。

大澤 全部の子供は入れない。精一杯の大きさがこれ。

かるた部 華道部は今使っており引き続き使いたい。週一回程度。

普段は机を置いてある。授業で探求科も使える。

自販機置いて喫茶できる。イオンモールに行っている子供たちの何人かでも使ってもらえばいい。

二木 多くの生徒が使えるということで理解した。

費用 ここまで努力に敬意を表する。日々コストが上がる中で今後どう管理していくのか。これ以上上がった場合の進め方は。

大澤 解体費に最も危惧している。建築そのものは 4500万円。これはこれで行けそう。解体費が先行するので年内に契約できればこれで行けるかとにらんでいる。ギリギリ何とか押し切れるかどうか。解体費が最もネックだ。

二木 建築費でなく解体費がネックとは想定していなかった。

10%以上変動した時には見直す・立ち止まる仕組みがあると安心。

大澤 そのために 1000万円を予備費とした。この先も下がる保証なし。人件費も高騰。

望月 とりまとめは建築士の茅野君。三社の見積もりと解体費。一番安いところにする。もしもの場合は私が再度頭を下げるに回る。

建築 橋場テクノス 県陵特別価格だ。

実行委員男性 対象人数の少なさを感じる。稼働率を上げるための努力を求める。

僚友館は定員 50人程度だが今度の方はもっとたくさんの生徒が使えるように。

大澤 今までよりは地域にもオープンになる。

伊藤 今回のは何年もつとお考えか。

小松 木造 いいのを使えば 1000 年もつ。構造計算も厳しくなった。メンテは重要。RC や鉄骨造よりはもつ。最低でも 100 年。一般的な言い方だが。

伊藤 メンテ費用はどうなるか。費用も上がる。

小松 屋根は鋼板 20-25 保障のもの使う。塗装もいいものが出てきている。四半世紀に一回で十分かと。

ニ木 メンテナンスコストはどのくらいの費用感か。

大澤 同窓会ありかた検討委員会での一番の問題は会費の徴収。二万人会員いる 中で 1800 人くらいしか納付なし。各回 50 人くらいずつ増やしてほしい。2-3 百万増収となる。会費納入を増やしていこうという動きを取っていく。

伊藤 30-50 年は大丈夫なのか。

望月 学校の環境整備が肝心。

学校環境に対する評価がクローズアップされている。県立合格・私立も合格で私立に行く事例が散見。教育環境が充実 校舎・トイレ・体育館・同窓会館などの。

蟻ヶ崎・塩尻の私立受かって私立に行く。伝統・教育の目標などが若い人には響かない。環境の一環で今回の建設もやる。

森本 減価償却費 金があるのか。

百瀬 大澤さんに確認したい。

福井 税務会計上は費用、キャッシュフローでは残るということか。

森本 積立金という言葉遣いは違和感あり。

大澤 現金で出していくわけではない。内部で残っていく。

望月 2880 万円ほどある 内部留保。

百瀬 これから支出計画を聞く。あがたの泉はやめるのか。ただでさえ流動資産を取り潰している。やめると宣言してほしい。

大澤 建設が終わってから。まずは完成させたい。

百瀬 80 年史売れ残りが会館に山積み。100 年史はそういうことがないように。

望月 どんどん買ってほしい。

福井 建設問題 情報共有が不透明。もっと情報開示してほしい。

#### ◆会報あがたの作成費用削減について

戸田 ゼロベースで考える。制作・印刷・配送 安い業者がいるのはわかっている。

配送 会報の電子化はしても、来年もまだ印刷物を配布するのにかわりなく、配布がある以上この問題は解決しない。支出が増大。

発送費 三つのフェーズあり。

制作は荒木デザイン。印刷は電算印刷。発送費が最高に上がっている。

昨年 クロネコやめて郵便にせざるを得なかった。

信書の問題 郵便法は日本郵便のみ許可している。あがたは信書に該当してしまう。定義が読んでも難解。郵政現場もわからない。担当者によって判断が違う。信書判定を回避することを考えないといけない。まともな業者は信書を扱わない。

信書性が疑われる点

ポストインネットワーク村越氏によると本体▲ チラシ▲ ハガキ× 郵便振替用紙○。

ゆうメールにより回避できる。180 円定形外が 101 円になる。

表と裏しか見ない 会報であることを明確にする。冊子にしろ、裏表紙にも気をつける。

チラシが別だとよくないケースあり。冊子内に収め、チラシなくす。

申し込みの部分はウェブに振るのが良し。

ハガキ 2400 出して 170 戻る。なくすわけにいかないのか。ハガキも中に入れてしまえばよい。

ハガキの欄を作りミシン目入れると高いのでハサミで切り取る方式にする。

今回は郵便からゆうメールに変えたい。

印刷+発送業者たくさんいる。ただし信書問題が大。

電●印刷にはやられた。見積と請求が違った。

荒木デザインの代わりに制作し一貫してやってくれるところあり。ただし相当コミュニケーションが必要。今みたいに締切ギリギリでもやってくれる融通が利くところが必要。

来年は 2400 から 800 に トータルコストは下がる。しかし単価は上がったままだと意味なし。単価下げる。

業者を変える気はない。電算切りたいが切れない。村越の知見。

良好な関係を維持する必要。郵政担当者によりけり。村越さんと郵政の関係も利用。去年通したので今年も通す、となる。

今までより三週間ほどスケジュール前倒し要す。校正段階でやり取りすべき。

広告費値上げの是非

部数減るのに値上げはいかがか。県陵コネクションに広告出した方は一年間ホームページに出稿させてあげるとか。

百瀬 合い見積もりは取ること。同窓会会計危機的。

いつまでも荒木さんに頼れない。

当面は紙と電子化併用せざるを得ない。

戸田 結論でなくとも今日次の分を決めないといけない。福井さんがチャット GPT で提案してくれた業者も検討したい。

百瀬 代表幹事会で続きをディスカッションする。

郵政さらに 10 円上がる。ヤマトも佐川も値上げしている

福井 合い見積もりを取り安いところを確認したうえで荒木さんの機能ができるか業者に確認するということ。

戸田 はがき活用者は 8 割が 65 歳以上。

◆県陵レディースイベント企画

衣袋県陵レディース委員長

9/20 女性会員 544 人に発送、現在 40 人参加予定。プラン概要説明。

会館建設に関する説明・ディスカッションに大きく時間を割き、これにて予定時間を大幅に超過したためこれにて終了。

予定議題のうち

名簿の管理共有化について

会費未納者対策について

は次回代表幹事会で議論する。

次回より、発言者の時間管理をより密にし、時間内で密にして十分な議論ができるように運営する。

以上